



民生委員・児童委員の日～支え合う 住みよい社会 地域から～

民生委員・児童委員は、地域住民の一番身近な存在として、さまざまな生活課題を抱える方々に対して、社会資源へつなぐことで、多様化・高度化するニーズに対応し、誰でも、どこでも安心して暮らせる地域社会づくりの支援など、「地域共存社会」推進に取り組んでいます。また、地域活動でも自治会と連携し中核を担っている方が多く、令和2年4月1日現在、うるま市民生委員児童委員協議会では137名の民生委員・児童委員の皆さまが活躍しています。

全国民生委員児童委員連合会では、毎年5月12日を「民生委員・児童委員の日」と定めています。この日から、一週間は活動強化週間となっており、民生委員・児童委員の存在について、地域の住民や関係機関・団体等に理解を深めていただき、信頼関係を築くことを目的にさまざまなPR活動を展開しています。

うるま市民生委員児童委員協議会では、例年、出発式を行っていますが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となりました。しかし、各地区で横断幕を活用したPR活動を実施し、更なる活動の充実を目指しています。

そこで、うるま市では、民生委員・児童委員として地域の福祉充実のため共に活動していただける方を募集しております。ご興味のある方は是非ご連絡ください。

お問い合わせ先：うるま市役所福祉総務課 (989-0203) ・うるま市社会福祉協議会 (973-5459)

ニーズが高まっています！ 食のセーフティネット・フードドライブの ご協力をお願いします！

うるま市社会福祉協議会では、生活困窮者への食の支援・食品ロス削減の取り組みとして、ご家庭に余っている食品を寄付していただくフードドライブを行っており、うるま市における貴重な食のセーフティネットとなっています。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大により生活困窮者への食品提供の需要が増え、食品のストックが少なくなっている状態です。

緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ続くコロナウイルスの影響により、今後も食品提供依頼が増加すると予想されます。食のセーフティネットを維持するために家庭で余っている食品を持ち寄り、それを必要とする方に寄付するフードドライブへのご協力をお願いします。

また、企業や団体からの食品提供も募集していますので、ご協力頂ける企業・団体様がありましたら是非ご連絡ください。

<受け付けている食品>

- ◇未開封で、賞味期限が1ヶ月以上あるもの。
- ◇常温保存可能なもの。
- ◇白米（精米日から一年以内のもの）、玄米、
パックごはん、アルファ米
- 缶詰、インスタント食品、乾物、レトルト
食品、お菓子、調味料。

*生ものは受け付けていません。

下記の窓口で受け付けています。

是非お知り合いの方にもご周知いただき、
ご協力をお願いします。

<食品受付窓口>

うるま市社会福祉協議会 ボランティアセンター
TEL：973-5459 FAX：974-5306

～もったいないをありがとうへ～

フードドライブにご協力ください！

ご家庭に眠っている
まだ食べられる食品を
お持ちください

フードドライブとは？

家庭に余っている食品を持ち寄り必要としている福祉団体・施設などに寄付する活動です。



- お持ち
いただきたい食品**
- お米
 - 缶詰(肉・魚・野菜・果物など)
 - インスタント食品・レトルト食品
(常温)
 - 乾物(乾麺・海苔など)
 - 嗜好品
(菓子・コーヒー・お茶など)
 - 調味料
(食用油・しょう油・味噌・砂糖)

- 受け付け
できない食品**
- ✕ 開封されているもの
 - ✕ 賞味期限が1か月切っているもの
 - ✕ アルコール
(みりん・料理酒は除く)
 - ✕ 生鮮食品
(生肉・魚介類・生野菜)
 - ✕ 成分またはアレルギー表示が
ないもの

お問合せ：社会福祉法人 うるま市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒904-2214 うるま市安慶名1-9-1 うるま市健康福祉センター うるみん2F
TEL:973-5459 FAX:974-5306

～新型コロナ感染拡大をうけて～
多くの企業や個人よりたくさんの寄贈がありました！
 皆さまからのご支援・ご協力、心より感謝します。

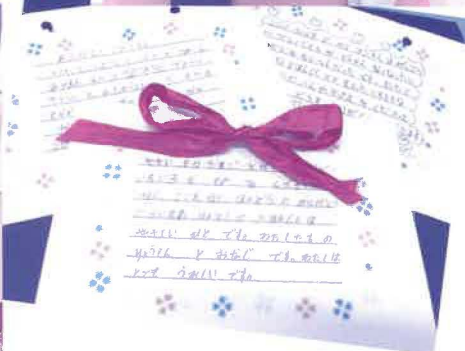


～たくさんの想いが集まりました！～

うるま市商工会・うるま市農業青年クラブ・(有)仲松ミート・JA沖縄石川支店(豚肉、ハム、野菜、花苗、卵)、識名農園(トマト、他野菜)、海邦銀行サッカーチーム(マスク)、お菓子御殿(ちんすこう、マドレーヌ他お菓子)、あやはし苑(レトルト米:【提供元】沖食商事名護支店)、キャッスルハイランダー(パン、飲み物)、うるま市農漁村生活研究会(味噌)、中央区老人会(布マスク)、障害者就労支援事業所ライフサポートcocoa(子ども用布マスク)、沖縄ヤクルト(ラーメン)、沖縄タイムス伊波販売店(布マスク)、日本青年会議所沖縄地区協議会(米)、丸安プロパン(缶詰、ラーメン他食糧)、個人(米、卵、缶詰、布マスクなど)
 【順不同・敬称略】

～頂いた食糧品やマスク等は、必要とする方々へお渡ししました～

楽寿園、あやはし苑、ケアハウスふくぎ苑、在宅介護サービスひまわり、デイサービスつる、県立中部病院、ホープラブ、児童館、子どもの居場所、個人(貸付相談者や日本語学校留学生など) 【順不同・敬称略】



「社協だより」は、赤い羽根共同募金を活用しております。

令和2年度 うるま市社協事業計画

うるま市社会福祉協議会では、令和2年3月4日開催の理事会と3月18日開催の評議員会において、令和2年度の事業計画及び資金収支予算の承認を得まして、今年度の事業推進に努めています。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が困難な事業が出てきている状況ですので、掲載している事業の詳細については社協事務局などへのお問い合わせのほどよろしく申し上げます。

★重点項目

☆福祉教育の強化と地域の居場所づくり拡大

- ・地域づくり支援事業（地域づくりの組織化支援、住民活動支援、体制づくり）
- ・ふれあい総合相談支援事業（健康・福祉に関する総合的な相談窓口の設置、コミュニティソーシャルワーカーの配置、地域福祉活動等への支援など）
- ・ボランティアセンター運営事業（ボランティア体験の推進、福祉教育の推進・福祉学習機会の提供など）
- ・ふれあい・いきいきサロン事業（地域の居場所づくり）
- ・ふれあい・いきいきサロン（茶一びら子どもの居場所づくり事業）

☆社協財政基盤の強化と安定

- ・自主財源確保の取り組み（社協会員加入促進、寄附金募集の推進、共同募金運動の推進）
- ・広報活動の強化・充実（社協だよりの発行、ホームページの運用、共募通信の発行、市広報誌などの活用）

★実施事業

1.うるま市権利擁護センター事業の受託

- ✓うるま市権利擁護センター事業
- ✓日常生活自立支援事業

2.老人福祉活動

- ✓生活支援体制整備事業
- ✓ミニデイサービス推進員ふれあい交流会の開催
- ✓ふれあいコール事業
- ✓生きがい活動支援通所事業

3.児童福祉活動

- ✓児童福祉週間の啓発活動（こいのぼり掲揚式など）
- ✓児童問題の相談への対応(関係機関との連携)

4.障害者(児)福祉活動

- ✓障害者社会参加促進事業
- ✓地域活動支援センター事業
- ✓障害者相談支援事業
- ✓指定相談支援事業

5.母子・父子福祉活動

- ✓一人親世帯等新入学児童激励事業

6.ふれあい総合相談支援事業

- ✓地域づくり支援事業（小地域福祉活動の推進、見守りネットワークのしくみづくり）

7.ボランティアセンター運営事業

- ✓福祉教育推進活動（児童生徒への福祉教育の推進など）
- ✓ボランティア活動の促進（ボランティアの登録・斡旋及び相談、ボランティア講座等の実施など）

 「社協だよりの」は、赤い羽根共同募金を活用しております。

8.福祉団体育成活動支援

✓民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会 他7団体への助成及び活動支援

9.福祉啓発事業

✓うるま市社会福祉大会の開催

✓うるま市福祉まつりの開催

10.歳末たすけあい募金配分事業

✓歳末たすけあい義援金の支給・行事食の配布

✓要援護者世帯等への必要なサービスの実施

11.介護保険事業

✓指定居宅介護支援事業、指定介護予防支援事業、介護予防ケアマネジメント事業

✓指定通所介護事業、通所型サービス事業

12.事務局組織体制の強化

✓業務調整会議、連絡会、勉強会等の実施

✓資格取得及び自主研修の支援、研修への派遣

13.その他の事業

✓社会福祉センター（与那城）の管理運営

✓福祉バスの貸出など

令和2年度 社会福祉事業資金収支予算書 (単位=円)

(収入の部)	勘定科目名	予算額	(支出の部)	勘定科目名	予算額
会費収入		10,594,000	人件費支出		259,814,000
寄附金収入		6,000,000	事業費支出		45,883,000
経常経費補助金収入		149,287,000	事務費支出		23,439,000
受託金収入		104,819,000	利用者負担軽減額		76,000
貸付事業収入		480,000	貸付事業支出		259,000
事業収入		1,724,000	助成金支出		17,467,000
介護保険事業収入		62,210,000	負担金支出		654,000
障害福祉サービス等事業収入		11,522,000	流動資産評価損等による資金減少額		210,000
受取利息配当金収入		41,000	施設整備等支出		450,000
その他の収入		2,051,000	その他の活動支出		16,487,000
その他の活動収入		11,311,000	予備費支出		5,389,000
前期末支払資金残高		10,089,000	支出の部合計		370,128,000
収入の合計		370,128,000			

「社協だより」は、赤い羽根共同募金を活用しております。

コロナに負けるな!! マスク寄贈式



写真左から中央区老人クラブ伊波ミサ子会長、久高安子さん、
社会福祉法人育賛会楽寿園 禰保みのり課長、社会福祉法人育賛会 佐渡山安輝理事長

令和2年4月23日（木）社会福祉協議会石川支所にて中央区老人会から社会福祉法人育賛会楽寿園職員に手作りのマスクを寄贈し、激励を行いました。

伊波ミサ子会長、久高安子さん、嘉手苺末子さん、名嘉眞ウメ子さんの4名が3日間で50枚のマスクを製作し、「楽しみながら作業に取り組んだ」とのこと。また、伊波会長は、「以前、楽寿園にお世話になったので、恩返しがしたかった」と話されていました。

ご寄附ありがとうございます

令和2年2月から令和4月受付まで(順不同・敬称略)

<香典返し>

御 芳 名	金 額	故 人 名
トウ メ ヒロシ 当 銘 博	100,000	トウ メ ハル コ 当 銘 春 子
イケ ホ セツ コ 池 保 節 子	50,000	イケ ホ セイ イチ 池 保 正 市
テル ヤ ヒロ ミ 照 屋 寛 美	50,000	テル ヤ ヨ シ 照 屋 ヨ シ

<一般寄附>

御 芳 名	金 額	使 途
ウエ マ タイセイ 上 間 太 精	10,000	社会福祉事業として
ヘイアンカブシキガイシャ 平安株式会社	100,000	社会福祉事業として

<指定寄附>

御 芳 名	金 額	使 途
クワ エ リョウヤ 桑 江 良 也	32,000	マイクロバス購入 資金として

福祉情報を イロイロ発信しています！

フェイスブックやLINE、Instagramを行っています！

下記からアクセス出来ますので、ご覧ください。

うるま市社協



うるま市ボランティアセンター



 「社協だより」は、赤い羽根共同募金を活用しております。